



# 松原周辺には どんな人が住んでいた?

松原周辺は中級以上の武士だけが住むことができる、  
城下の中でも格式の高い場所のひとつでした。

## 城

下にあった約1,000カ所の武家屋敷は、「〇〇小路」と呼ばれる約100の小  
区画に分かれていました。城堀に面して「北御堀端小路」があり、松原川を挟  
んでさらに北側に松原小路・中之小路・八幡小路の順に広がっていました。

北御堀端小路は道路幅が約10mあり、その北側に白壁の塀をもつ屋敷が建ち並んで  
いました。中には藩の米蔵や訴訟を扱う評定所などの公的機関もありました。現在の徴  
古館の場所には10代鍋島直正公の側近をつとめた鍋島市佑(夏雲)という上級武士も  
住んでおり、その屋敷地は約4,600㎡(約1,400坪)もあり  
ました。

お城に近いこれらの小路には中級以上の武士だけが住  
むことができ、松原周辺は城下の中でも格式の高い場所  
のひとつでした。



文化御城下絵図(周辺部は一部カット)(1810年頃)  
鍋島報効会(徴古館)所蔵